



令和4年6月13日発行

立山町教育センターだより 号外2

立山町教育センター 〒930-0221 立山町前沢 3318 TEL: 463-4407 FAX: 463-6622 URL: <http://www.tateyama-c.tym.ed.jp>

1学期の振り返り地点が過ぎました。子供たちの勉強や生活も軌道に乗り、より充実した学校生活を送ることができるようにとアイデアを凝らしておられる先生も多いのではないのでしょうか。

第1回リーダー研修会

R4, 6, 10
雄山中学校にて

「学校運営において期待される役割」

雄山中学校 校長 高瀬知郎先生

近い将来、各校のリーダーとしての活躍されるであろう23名の先生方が集まれ、6月10日に「第1回リーダー研修会」を開催しました。今回は、雄山中学校高瀬校長先生のお話を聞きました。

まず、参加者がこれまで出会った憧れのリーダーを2、3人で語り合う時間が設けられ、経験に裏打ちされたそれぞれのリーダー像を明確にしていきました。そして、ミドルリーダーの重要性を「学校に協働性を生み出す主体」として捉えて話を進められました。「同僚性」は「協働性」の基盤であるという考えの下、同僚との日ごろからの何気ない言葉かけやちょっとした支えが「同僚性」を生みだし、そこから信頼関係が構築されることによって「協働性」が発揮されるようになる。そのことが組織的な対応につながり、学校が活性化されていく。したがって、ミドルリーダーの存在が大きな役割を果たすということをお話しされました。

高瀬校長先生のお話をうかがい、参加者はそれぞれの立場に沿って考えを深めていました。高瀬校長先生ありがとうございました。

(町教育センターのホームページに何人かの感想が掲載されています)



児童生徒の生涯に関わる教師の姿

教育は、将来の社会を担っていく児童生徒を健全に育み、立派な大人へと育てていく「人づくり」の営みです。教師は、単なる知識の伝達者ではなく、児童生徒の人間形成全般に大きく関わり、その生涯に多大な影響を与えます。教師の人間性や生きる姿勢は、児童生徒にとって人としての手本になることを肝に銘じなくてはなりません。教職に就いたということは、「人づくり」の専門家になったということであり、児童生徒の未来を創る仕事に就いたということです。教師に寄せられた社会の期待の大きさと使命の重さを強く自覚するとともに、常に自らの力量を高め、自信と誇りをもって教育に携わらなければなりません。

「令和4年度 教員研修ハンドブック」より